

コラボレーション

本校では食育を進めております。日本に古くから伝わる行事食の紹介、日本各地の名物、世界各国の料理などを、栄養士さんが熟慮し、給食のメニュー加えてくれます。『今日は何の日』などともコラボし演出しています。

10月10日は“体育の日”と答えた人は我々世代でしょうか。10という数字を90°右に倒すと、眉毛と目の形になります。ご存知、“目の日”なのです。給食ではコラボして“ブルーベリーケーキ”が振舞われました。ブルーベリーには、目に良いとされるアントシアニンが豊富に含まれます。さらにブックランド(図書室)ともコラボして読書週間を盛り上げます。生徒が紹介した本“にっぽんのおかず”に掲載されるメニューが給食になりました。“こんにゃくのおかか煮”です。こんにゃくにおか

の出汁がよく染み、ご飯のお供として逸品でした。

教室の飾り付けが、ハロウインとコラボし、様変わりしています。10月31日に行われる秋の収穫と先祖の霊をしのぶお祭りですが、少なくとも私が中学生のころには、大々的に行われてはいませんでした。1985年ころからデパートなどで商品を売り始め、2010頃からテーマパークなどがイベントを行うようになったみたいです。日本の伝統行事を大事にしつつ、このイベントを楽しみたいところ。ハロウインの飾りばかりではなく、清瀬中の収穫を祝いたい。恒例のビニール袋農園に行ってみると、大根栽培が始まったばかりでした。

先日、東側2階と1階の間で排水管が詰まってしまいました。教職員総動員であふれた水を取り去りすぐさりました。排水管のトラブルを解決するために市の施設課さんや業者さんが到着。洗浄機にて排水管のつまりにアプローチしますが、上手くいかず、さらに高出力の洗浄機が必要となりました。その会社の超高压洗浄機が到着するのは翌朝になってしまうということでその日の作業を断念。しかし、生徒の翌日の登校のためには何とかしたい。そこで、地元の設備会社さんに連絡とりました。業務終了時刻であろう夕刻でしたが、すぐに駆けつけてくださったのです。その上、社長さんは、他の会社のプ

ロフェッショナルも招集してくれ、総力戦となりました。地元設備会社さんの超高压洗浄機により間もなく水が流れ出したのですが、貫通しないのです。夜の10時過ぎまで踏ん張ったのですが原因を究明できず。パイプ内の画像を内視鏡で見る必要があるとの判断になりました。となると東側のトイレは3階も4階も使えません。それぞれの排水管は同じ系統でやがて合流するからです。本校の構造は特殊で、東側トイレは全て女子用。つまり、女子は詰まりによりトイレを使えないのです。このままでは休校か?と悩んでいると、夜も遅いという

のに社長さんが仲間の業者に連絡を入れ、仮設トイレ8基をお昼までに設置してくれることになったのです。清瀬小にもトイレ貸与の協力をあおぎ、3時間遅れの登校で対応できる目途が立ちました。社長さんの「明日、生徒さんが学校に来られるようにしたい!」との思いで前に進んでいったのです。

消毒業者さんも翌朝7:30には作業を開始。皆さんの力で翌午前中には復帰に至りました。これらの様々な人々の力、これもコラボレーションではないでしょうか。調べてみると、『コラボとは異なる分野の人や団体が協力して制作すること』『“協力”が創り出す作品ですから、今回の復帰作業はコラボレーションそのものです。このコラボに感謝です。』

「明日の生徒さんのために」という社長さんの言葉は地元の皆さんの想いでもあります。清瀬の皆さんの強力な協力との地元の子どもたちを大切に思う気持ちが早期回復を実現しました。

それらはこれからの清瀬の担い手を育てる郷里良くする想いでもあります。

